

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、保管されている試料（血液）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	食後の代謝異常がHDLによるコレステロールの引き抜きや動脈硬化に及ぼす影響の検討
研究機関名	愛媛大学医学部糖尿病内科学講座
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者(個人情報管理者)	愛媛大学医学部糖尿病内科学講座 准教授 高田康德
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027年 3月31日
対象となる方	2006年12月～2009年12月に臨床研究「簡易食負荷による食後糖脂質代謝異常及び血管機能異常のスクリーニング方法の確立(承認番号:0612002-1902)」に参加した方
利用する試料・情報等	前述の臨床研究参加時に得られた残血液、患者さんの臨床情報(年齢、性別、血圧、血糖、脂質、動脈硬化指数など)
研究の概要(目的・方法)	残血液を用いて、善玉コレステロールであるHDL-Cのコレステロール引き抜き能(CUC)を測定する。また、食後の糖・脂質代謝異常とCUCの関連を調べる。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されて

	から利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院糖尿病内科 高田康德 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-955-9728

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学医学部糖尿病内科学講座 准教授 高田康德
共同研究機関	神戸大学 立証検査医学 特命准教授 長尾 学
共同研究機関	シスメックス株式会社 中央研究所 先端医療研究グループ 部長 原田 周